

■千種中学、高校 学校トイレに生理用品 東京の団体寄付「生徒が気配りできるように」

赤いかごや箱に生理用品を詰めて学校などに無償提供するボランティア団体「レッドボックスジャパン」（東京）は、宍粟市の千種高校と千種中学校に生理用品を贈った。今後もなく次第、両校に無償で届けるとい

元々は2017年に英国で始まった取り組みで、経済的な事情から生理用品を購入できなかったり、性に関する正しい教育を受けられなかったりする「生理の貧困」の解消を目指す。

日本では19年に支部として同団体が発足し、メンバーがそれぞれの地元などで活動。これまでに学校や公共施設など計33カ所に配



レッドボックスジャパンの土原翔吾さん(左)から寄贈品を受け取る生徒たち=千種高校

布してきた。団体の取り組みを知った千種高も提供を要望し、千種中と合わせて寄贈を受けることになった。

千種高では、同団体の土原翔吾さん(30)＝稲美町＝が活動内容を紹介。生徒を代表して赤いかごを受け取った2年の池垣春香さん(16)は「大切に使っていきたい」と感謝を伝えた。今後は女子トイレに置き、使い方のルールを決めるという。

土原さんは「性の問題を男女とも相互に理解することで尊重し合える社会になる。生徒たちが互いに気配りできるようになれば」と話した。

(村上晃宏)